

1 防災対策の強化を

東日本を中心に襲った台風15号、19号は、甚大な被害をもたらしました。静岡県内でも農林水産業や公共施設の被害があり、被害額として昨年の台風24号を上回る180億円の被害になったと報道されている。

今回の台風では、避難の在り方や住宅が被災したあとの避難所での生活の在り方、復旧・復興への課題などが指摘されている。

(1) 台風19号の影響により、磐田市鮫島の海岸防災林が被災している。

- ① 被災の規模、今後の復旧の見通しについて伺う。
- ② 海岸の緊急的、長期的な浸食対策が必要と考える。市の考えと遠州灘沿岸侵食対策検討委員会でどのような検討がなされているのか伺う。
- ③ 竜洋地域から福田地域までの防潮堤整備事業と海岸の浸食対策をどのように考えるのか見解を伺う。

(2) 市内では台風19号の大きな被害がなかったものの、道路の冠水や避難場所へ市民が避難をしている。

- ① 避難場所の開設、避難の状況、課題について伺う。
- ② 台風などによる災害の危険性が高まると市民からの問い合わせが多くなる。市の対応と課題について伺う。
- ③ 台風19号による排水機場・ポンプ場の稼働状況と課題について伺う。

(3) 今回の台風19号による広域浸水により、被害を受けた地域では、認知症や重度障害のある「災害弱者」に対する課題があったと報道されている。災害時に高齢者や障がい者を支援し、どこに避難させるかを個別に定めた「災害時ケアプラン」が必要だと指摘されている。「災害時ケアプラン」作成には、ケアマネージャーや相談支援専門員の役割が欠かせない。「災害時ケアプラン」について見解を伺う。

(4) 台風の被害に対して国などから補助金支給など支援がされている。

- ① 昨年の台風24号による農業被害への補助金の支払い状況と課題について伺う。

- ② 農家が申請してから支払いが行われるまで期間がかかるとの声がある。現状と課題について伺う。

2 兎山公園と周辺の整備を

2020年春の開業に向けJR御厨駅の工事が行われている。新駅の周辺には兎山公園や国指定遺跡の松林山古墳などの御厨古墳群があり、散策するには大変いい場所となっている。

- (1) 鎌田にある兎山公園は、ブランコ、滑り台、ローラー滑り台などがあり、子どもたちに利用されている。公園内にあった児童館は2009年に老朽化を理由に廃止された。更地になった跡地はそのまま、現在も使われていない。市民の声を聴き整備すべきと考える。見解を伺う。
- (2) ローラースケート場は雨が降ると水が溜まりやすくなっている。対応策について伺う。また、スケートボードの練習にも使われている。市内には練習場所がないので「初心者も使用できるスケートボードパーク」として再整備を望む若者の声がある。見解を伺う。
- (3) 老朽化したローラー滑り台は今年度中に改修されるとのことである。改修内容、時期について伺う。
- (4) 兎山公園の炊事場は老朽化している。改修を行ったらと考える。見解を伺う。
- (5) 兎山公園は、「御厨古墳群」に囲まれている。市民の声を聴き共同して兎山公園と古墳を生かした整備をすることが必要だと考える。見解を伺う。

3 環境問題について

(1) 日本に存在する外来種は、判明しているだけでも2000種を超えると言われている。この数には、農作物や観賞用の植物、家畜やペットとして飼われている動物なども含まれる。すべての外来種が問題という訳ではなく、私たちの生活と密接な関わりを持っているものも多いのが現状である。

① 磐田市内での外来種調査の現状と対策について伺う。

② 日本では2012年に愛知県で初めて生息が確認されたクビアカツヤカミキリの生息地が拡大し、サクラ、カキ、ウメ、モモなどの被害が埼玉県、栃木県、群馬県、東京都、大阪府などで報告されている。静岡県では、被害の報告がないが、情報の収集、対策などが必要だと考える。見解を伺う。

(2) 農薬を使った除草が公園などで行われ問題になっている。

① 市が管理するスポーツ施設（指定管理施設も含む）、公園、学校施設の除草剤の使用状況について伺う。

② グリホサートを主成分にした除草剤は、発がん性があるとしてフランスなどヨーロッパの国々では使用が禁止されている。しかし日本では、一般にラウンドアップなどという商標で売られ使用されている。使用についての対応が必要だと考える。見解を伺う。